広報紙

つながる通信



発行日 2021年6月11日

みなさんは、日々の暮らしの中にご近所付き合いや気の合う仲間がいますか? 5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、人と 人との「つながりのある地域」をめざし、「地域のお宝」として、ご紹介していき ます。

取材先





書道をするお部屋があ り、毎日1時間ほど 集中して 書きあげます。



畑では、枝豆やなすな ど5種類の野菜を育て ています。水やりは近 所に住む息子さんにお 手伝いをしてもらって います。



玄関先には、色とり どりの花が咲いてい ました。



強戸地区 石塚ゆき江さん 90才

「私はお花が大好きなの。」そう話す石塚ゆき江さ んは90才でお1人暮らし。

お庭には、季節の花が咲き、家の中には、部屋ご とに種類の違う花が飾ってあります。

お部屋に飾ってある花のほとんどはお友達から頂 いたもの。ゆき江さんの花好きを知っているお友達 やご近所さんが、定期的に渡しにきます。

「おかげさまで1年中お花が飾ってありますよ」 花を渡すついでにお茶のみをしたり、「お花見しに きたよ」と気軽にお友達がゆき江さんの家を訪れま

花を通じたやりとりはコロナ禍でも感染対策をし ながら続いており、ゆき江さんのお家は集いの場に なっています。

また、ゆき江さんは、毎日ご近所に住む中村登久 江さん76才とお散歩へ出掛けます。

「1人で歩いて倒れると大変だからね。中村さんが 一緒に歩いてくれることはありがたいよ。」とゆき 江さんは語ります。おすそ分けをしたり、時には畑 の作業を手伝ってもらったりと中村さんとは見守り あい、助け合う関係が出来ています。

20代の頃から毎日日記をつけているゆき江さん。 この日は何をした、誰が来たなど振り返る時に大変 役に立っています。今では、「ボケ防止になるから つけているのよ。」とお話し、日記は生活の一部に なっています。

チェックポイント!

ゆき江さんは、お1人暮らしをしていますが、 息子さん夫婦が近くに住んでおり、さらにご 近所さんやお友達が毎日のように来てくれる から、寂しくなく、むしろやることがいっぱ いで忙しいそうです。

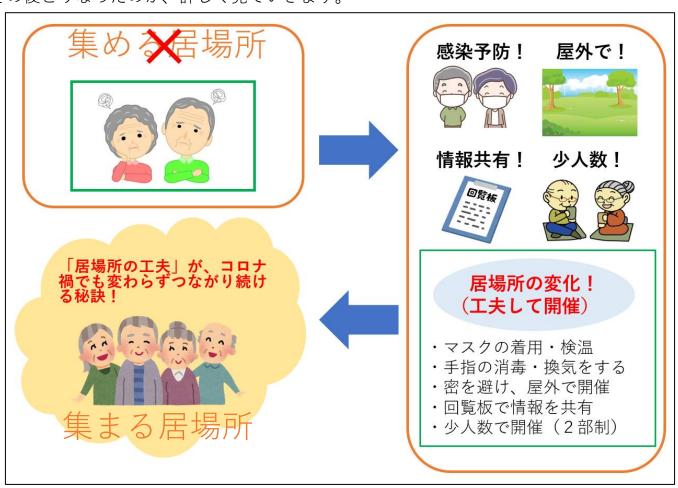
コロナ禍で地域の行事や人とつながる機会が 少なくなっている中でも、ゆき江さんは、 お友達やご近所さんとのつながりを切らず、 お1人の時間は、趣味や畑に没頭して元気に 地域で過ごしています。

ゆき江さんは、高齢になっても住み慣れた地 域で過ごすためのお手本になっています。

地域のお宝発見 ~太田市生活支援体制整備事業~

コロナ禍による【居場所の工夫・変化】

コロナ禍で地域の居場所はどうなったのか…活動の制限、自粛など状況は様々です。 今回はそんな中でも地域で知恵を出し合い、つながりを切らない為に工夫された居場所は、 その後どうなったのか、詳しく見ていきます。



上の図は居場所の工夫を簡単に表したものです。

コロナ禍で地域のサロンなどの居場所が自粛した中、感染防止対策を徹底し、自分たちの居場所やつながりを継続できるよう考え、工夫され、居場所の形態に変化がありました。例えば、感染防止対策の他にも、屋外で開催することによる感染リスクの減少、さらには2部制による少人数での開催、またこうした取り組みや情報を手紙や回覧板などで共有し、気にかけることを継続するなど、こうした自主的な発想による、いわば「**集まる**居場所」が増えていきました。「**集める**居場所」に×印があることは、今まで受け身であった居場所や活動を指し、「集められた」とも言い換えられます。

地域の運営者や参加者が知恵を出し合った「**集まる**」自主的な発想は、いずれコロナが 終息したときにも大切なつながりになると考えます。



お宝情報を募集中!「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけ合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください!情報をお持ちの方は下記お問い合わせまで、よろしくお願いします!

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係 〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549 TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032

★生活支援コーディネーターから一言

